

平成二十八年九月二十二日～九月二十七日

# 河内正孝陶展



\*画像・イラスト等の保存・転載・無断利用はお断り致します\*



今週の展覧会は、河内正孝先生による陶芸作品展です。会場にある作品はすべて『古来陶想』のテーマを元に制作されています。我々の身近にある文化や日常品はかつてシルクロードを渡り日本へ到達したものが数多くあり、例えば宗教や衣服などの装飾品や文字、そして陶器などが挙げられます。それらの殆どは日本で独自の発達を遂げ、今日にまで至り、日本の『侘び寂び』の心も発展を遂げ到達した一つのコンセプトですが、先生の作品はその根本を馳せ制作をされています。そのため、どこか懐かしみを覚えるような異国文化の香る作品になっています。

作品の一つからはそれぞれの浪漫が秘められているような印象を抱きます。人の手によって造られた温かみや、生活に寄り添い、彩りを与える様な美を感じ事ができ、中には重ねられた陶器から自分に合う器を手に取り、探し、発見する楽しみもあります。今年の展示ではタペストリーが正面の入口前に飾られており、絵画とはまた違った印象をえられる作品は会場の外からも異国情緒を感じる事が出来ました。また、陶器でつくられた文字の掛け軸もあり、紙に書く文字とは異なった陶の質感にモダンな印象を受ける事が出来ます。

